

事務事業評価表 平成23年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

施策 地域福祉の充実

基本事業 地域福祉活動の推進

事業名 **日赤北海道大会開催経費**

[0918]

部名	健康福祉部	事業開始年度	平成22年度	実施計画事業認定	非対象
課名	福祉課	事業終了年度	平成22年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>市民</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>赤十字思想の普及と社員の増強を図り、赤十字事業の充実と発展を目的に開催する。</p>
	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>日本赤十字社北海道支部が主催する大会を、日赤江別市地区が全面的に協力し、記念式典、市長招待晩餐会・皇族の市内視察を実施する。(原則隔年開催)</p>
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	市民	人			122,138	
対象指標2						
活動指標1	社資収納金額	千円			11,279	0
活動指標2						
成果指標1	大会参加者数	人			1,000	0
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	1,099	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	8,060	0
総事業費 (A) + (B)		千円	0	0	9,159	0

費用内訳	
22年度	需用費 858千円、使用料及び賃借料 141千円、負担金 補助及び交付金 100千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始 背景		事業を 取り巻く 環境変化	
------------	--	---------------------	--

22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由
・
根拠は？

市民に日赤の役割を広く周知する機会となったこと

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

市民が災害時の救護やボランティアに関心を持つようになったと思われる。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由
・
根拠は？

大会準備に多数の市民がかかわり、また当日参加する市民も多数あった。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

単年度事業である。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由
・
根拠は？

単年度事業である。